

## 第6回日中韓経済貿易担当大臣会合 共同声明（仮訳）

2009年10月25日 タイ・ホアヒン

我々、日中韓 経済貿易担当大臣は、2009年10月25日タイ・ホアヒンにおいて会合を開いた。我々は、3 国間の経済協力の枠組みについて意見交換を行った。

我々は、2009年10月10日の中国・北京で行われた3ヶ国サミットの成功を歓迎・支持し、3 国間の重要な経済協力に関する3首脳の決定を実現していくことを念頭に、以下の行動がとられるべきであることを決めた。

●我々は、3ヶ国間の経済連携の更なる強化に役立つ3ヶ国間の投資枠組みが重要であることに一致する。この観点から2010年の早い時期に日中韓投資協定交渉を実質的に合意することで一致する。

●我々は、産学官で三国間 FTA の共同研究を開始するという3首脳の合意を再確認し、合意のフォローアップとして、3ヶ国サミット以前を期待しつつ2010年の上半期に最初の共同研究が立ち上がることを目指して、政府高級事務レベルが共同研究の進め方について議論・検討を2010年のできる限り早いタイミングで開始させることで一致する。

●我々の経済的潜在能力を最大限活用するために、「ビジネス環境アクションアジェンダ」のフォローアップを行い、ビジネス環境の一層の透明化を促進する。

●我々は、いかなる形の貿易保護主義にも反対し、公平、自由で解放された国際貿易投資システムを支持する。我々は、モダリティーに関するものも含むこれまでの進展を基礎として、マンドートと整合的に、ドーハ開発ラウンド交渉の、志の高くバランスのとれた2010年中の妥結を追求することを決意する。